

衆議院議員(維新の党) 幸報No.01

横山博幸



愛媛県第2区 / 今治市・上島町・東温市・(旧)北条市・
中島町・松前町・砥部町・久万高原町

目指すは「官」から「民」へ・・・ 「民間力」「地域力」が日本を変える!

感謝!振り返れば、11月25日立候補記者会見、12月2日告示日・出陣式、故郷久万高原町で雪の日でした。神様がしっかりやれよと気合を入れてくれたと思っています。12月14日深夜比例四国ブロックにて当選! あっという間の選挙戦でしたが、各地域の皆様方の寒さを吹き飛ばすほどの熱意に支えられ、当選させていただきました。ご支援いただきました方々に心より感謝申し上げます。

今回の選挙は、安倍首相の判断による国民の意思を無視した唐突で無謀な選挙であり、選挙費用に実に血税700億円も使って行われた大義なき選挙でもありました。

この事に激しく憤りを感じ、政治家として自民党以外の選択肢になる候補者となり、自民党との政策の違いを明確にしたうえで、県民の皆様方に判断していただきたいとの想いが出馬への動機となりました。

意思決定後も、自民党の政策や政治手法を検証するにつけその想いが、“変えんといかん”とのスローガンに繋がりました。引き続きこの想いで政治に取り組みます。

更に、国民の立場での判断で、無駄遣いを撲滅し、真に国民の為になる政治を心掛けて参りますので、今後共にご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

お知らせ: 早期に事務所開設予定です。

- ◇ 地域事務所: 今治市・東温市
- ◇ 連絡事務所: 砥部町・久万高原町・松前町

平成 26 年 2 月 吉日

横山博幸



国会に臨んで

生まれて初めての国会議事堂は、気を抜くと飲み込まれそうなくらい、威厳と風格に満ち溢れていました。ここでの政治活動は、あまりにも責任が重く、相当の覚悟で臨まなければ納税者である国民の皆様方に申し開きができないと正直思いました。その後、正面玄関内で事務職員に議員バッチを着けていただきましたが、僅かな時間の合間にこの小さなバッチに、私を国会に送り出していた数多くの方々の想いが詰まっているのだと再認識したことが、今でもしっかり脳裏に焼き付いています。

初心を忘れることなく、「弱者救済」という初めて政治を志した原点に立ち返り、国会議員としての責務を果たす覚悟でございます。

選挙戦から当選までを振り返る。

初出馬は決断力を要求され、初当選は感激を与えられ、初登院は責任と使命感を刻まれました。政治理念は「弱者救済」、人生哲学は空手から学んだ「極意は基本にあり」です。今後共にご指導をお願い申し上げます。



故郷久万高原町での出陣式。寒く雪の降る朝でしたが多くの方々にお集まり頂き、お一人おひとりから激励を頂きました。子供の頃からの記憶が一気に蘇り、自らの役割を再認識した日でもありました。



橋下徹代表が、松山市駅前坊ちゃん広場に応援演説に駆けつけてくれました。明快な話しぶりで自民党の問題点を指摘し、かつ維新の党の存在意義を語って頂きました。寒さ厳しき時間帯にも関わらず多くの聴衆がお集まりいただき最後の後押しをしていただいた日でもありました。



近くのホテルから徒歩で国会に初登院、議員バッチを職員に付けて頂きました。緊張感と責任感、使命感を胸に感じた一瞬です。



国会に慣れるまもなく、早速、補正予算の説明会。県議会の予算と桁違いの金額に、税金の無駄遣いはないのかと自然に書類に目が集中します。



国会議事堂入口出退表示ランプを押して、いざゆかん議事堂内へ。当初は、目的の部屋に行くのに迷って右往左往、今は何とか分かるようになりました。



予算委員会での傍聴、目前に安倍総理を初めとした大臣が居並び、質疑応答する同委員会はマスコミも入り、迫力と緊張感があります。

身を切る改革。 実のある改革。

1. 「身を切る改革」「徹底行革」で財源を生み出す
2. 「政治とカネ」に終止符
3. 「脱・公共事業バラマキ」の経済対策
4. 「稼げる国」へ、徹底した競争政策
5. 「道州制」は日本改革特区
6. 総理官邸を国家戦略の司令塔に
7. 統治機構改革のための憲法改正
8. 原発フェードアウトと「自然エネルギー立国」
9. 多様性こそ国家の活力。
多様な人材を育てる教育改革
10. 先送りにNO! 社会保障制度改革
11. 女性の力を引き出す
12. 現実的な外交・安全保障政策を貫く
13. 震災復興は地元目線で

- 統治機構改革で「この国のかたち」を変える
- 「自治・分権」「自立」「民権」を基本理念とする
- 法と秩序に基いた現実的な外交・安全保障政策を展開する
- 「保守 VS リベラル」を超えて改革勢力を結集する

綱領



- 憲法改正による統治機構改革
- 規制改革の断行を柱とする成長戦略、「小さな行政機構」の実現
- 市場メカニズムを通じた「原発フェードアウトと「自然エネルギー立国」
- 集団的自衛権の検討を含む「自衛権」行使の範囲の適正化と法整備、「ソフトパワー外交」の積極的展開
- 少子高齢化に対応できる持続可能で受益と負担を明確化した「社会保障制度改革」
- 教育行政に対する責任体制を明確にする「教育制度改革」
- 被災地主導の「震災復興」と国主導の「原発事故対応」を加速化

政策

